

4 赤土流出防止対策を行わない理由

①費用がかかる	- - - - -	54.5%
②作付面積が減る	- - - - -	9.1%
③作業が不便になる	- - - - -	45.5%
④労力がかかる	- - - - -	18.2%
⑤雑草が侵入する	- - - - -	18.2%
⑥効果がない	- - - - -	27.3%
⑦作物の生育に影響がない	- - - - -	45.5%

出典：「生態調和的農業形成と環境直接支払い」
横川 洋、高橋佳孝 編著

スライド5

赤土流出防止対策を行わない理由としては、大きく3つの理由に分けられます。
経済的理由、時間的理由、価値観による理由の3つに分けられます。

4 赤土流出防止対策を行わない理由

- ①費用がかかる
- ②作付面積が減る

経済的な理由

- ③作業が不便になる
- ④労力がかかる
- ⑤雑草が侵入する

時間的な理由

- ⑥効果がない
- ⑦作物の生育に影響

価値観・必要性

スライド6

経済的制約の排除として、簡易対策の提案、資材の支援、資金の確保が考えられます。

5 阻害要因の排除による対策の実施

① 経済的制約の排除

<動機付け>

簡易対策の提案(部分的対策)

- ・ 部位、規模、時期の限定等

関係機関－研究機関、指導機関等

資材の支援

- ・ マルチ資材、種子、苗等 等

関係機関－行政、企業、団体、市民等

資金の確保

- ・ 有利販売、協力金、寄付等

関係機関－市場、市民、企業等

農 家

継続的な実施

スライド7

時間的制約の排除として、作業の支援、提携・連携による労働提供、栽培委託・農地貸借が考えられます。

5 阻害要因の排除による対策の実施

② 時間的制約の排除

<動機付け>

作業の支援(ボランティア)

- ・グリーンベルト植栽、緑肥播種等
- 関係機関—行政、団体、市民

提携・連携による労働提供(対価)

- ・グリーンベルト植栽、緑肥播種等
- 関係機関—企業、異業種等

栽培委託、農地賃貸(休耕期)

- ・間作(そば、牧草等)の委託等
- 関係機関—受託組織、個人、団体等

農 家

継続的な実施

スライド8

価値観や必要性の創出としては、耕土の資産的評価、有利販売・販売促進、使命感（守ることの意義）が考えられます。
しかし、ここが一番難しいところでもあります。

5 阻害要因の排除による対策の実施

③ 価値観や必要性の創出

<動機付け>

耕土の資産的評価

- ・ 投下経費(肥料、労働)、生産力等

関係機関－研究機関、指導機関等

有利販売、販売促進

- ・ エコファーマー、GAP等の認証制度

関係機関－行政、企業、市場、市民等

使命感－守ることの意義??

- ・ 誰のため??、何のため??

関係機関－行政、市民等

農 家

継続的な実施

スライド9

価値観や必要性の創出としては、耕土の資産的評価、有利販売・販売促進、使命感（守ることの意義?）が考えられる。
しかし、ここが一番難しいところでもある。